

松山大学法学部学術講演会

演題：「刑務所はどう変わるか ー拘禁刑創設後の刑務所と社会復帰ー」

講師：高野 洋一 氏（松山刑務所長）

講演概要

改正法が先の国会を通過したことにより、明治以来の身柄拘束刑である「懲役」と「禁錮」は一本化されることが確定した。もっとも、このニュース自体は広まったものの、法改正の狙いはなにか、また、刑務所の実務はどう変化しようとしているのかについての報道は極めて僅少であった。

そこで、行刑に長く携わってきた松山刑務所長である高野洋一氏に講演いただき、今後の刑務所のあり方などの展望を聞くとともに、その方針が市民社会、特に社会復帰する「元受刑者」と社会との相互作用にどういった影響を与えるかを考察する機会を設けることによって、単なる行政主導の制度改革の評価にとどまらず、社会が主体的に行刑というものを考える機会としたい。このような趣旨のため、学生・教職員はもちろん、広く一般市民にも参加しやすい形にしたいと考えている。

コーディネーター

松山大学法学部准教授 松田 龍彦



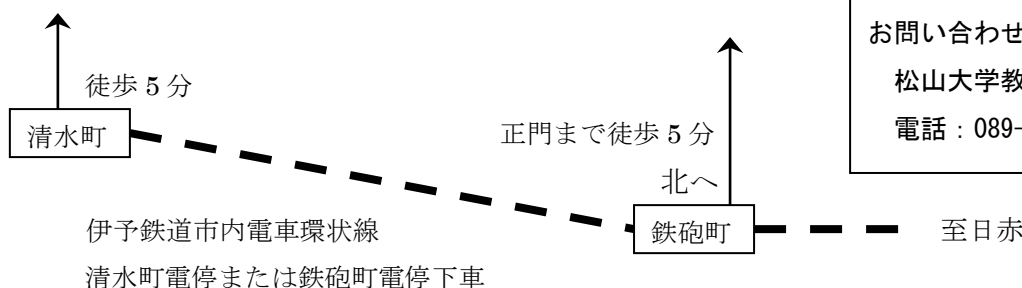
講師：高野 洋一 氏の略歴

平成 5 年 4 月：法務省矯正局 採用
平成 27 年 4 月：高松刑務所 総務部長
平成 29 年 4 月：法務総合研究所研究部 研究官
令和 2 年 4 月：横浜刑務所 総務部長
令和 3 年 4 月：高松矯正管区 第二部長
令和 4 年 4 月：松山刑務所長

入場無料・参加自由

日時：2022 年 10 月 10 日(月・祝) 14：15～15：45

場所：松山大学 8 号館 820 番教室



主催 松山大学法学部

お問い合わせ先

松山大学教務課 法学部担当

電話：089-926-7137 (直通)

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用いただくか、近隣の有料駐車場をご利用ください。